



# 玉名市立梅林小学校

6学級 児童数59名 職員数13名

校訓 正しく 強く 温かく



学校教育目標 **ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、  
自ら学び生きる力を身につけた子どもの育成**

## ◇ 豊かな心の育成 ◇

梅林小学校では、本年度、「立ち止まって元気なあいさつをしよう」「学習の姿勢を気を付けよう『ピン、ベタ、ジー』」「無言でそうじをがんばろう」の三つを大きな目標に掲げて力を入れて全校で取り組んできました。

まず第1に今年度、3つの大きな柱の1つとして、「立ち止まって元気なあいさつをしよう」の取り組みがあります。具体的には朝の登校時のあいさつ運動、各学級での担任による声かけ、そして、企画放送委員会を中心に児童による梅林小人権宣言の中の第1番目に掲げられた「1 わたしたちは、だれにでもあいさつをします。」の作成と行動化、さらにPTA活動として保護者による「ニコニコ元気にあいさつ運動」などで取り組みを行いました。

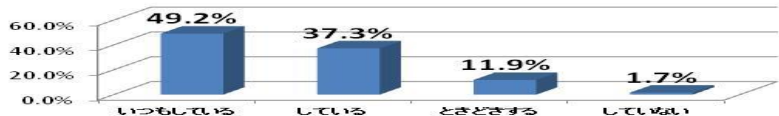
これまで取り組んできたことで、朝の登校時には正門から随分離れたところから大きな声であいさつする多くの子ども達の声が響き渡るようになりました。校内においても職員室や各学年の教室を巡りながら挨拶をして回る児童や校舎内の廊下で立ち止まってあいさつする児童の姿が普通に見られるようになりました。11月28日に実施した全校児童のアンケートでは、「できている」、「だいたいできている」を合わせると96.6%の児童が「だれにでもあいさつしている」という結果でした。この意識の高まりが日常の行動化につながっています。単に挨拶をするのではなく、立ち止まって行う丁寧なあいさつが校内の至る所でできている児童の姿が見られてきたことは、本年度の取り組みの大きな成果です。今後もいつでも誰にでもあいさつができる子ども達になって欲しいと願って、地道に継続していきたいと考えています。



「いつでも どこでも だれにでも」あいさつをしていますか？

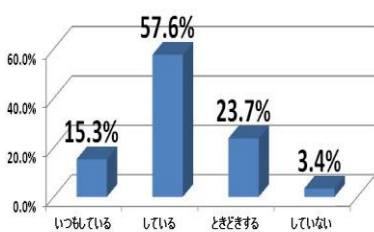


立ち止まってあいさつ



## ◇ 学習規律の徹底を目指して ◇

学習姿勢「ピンベタジー」はできていますか？

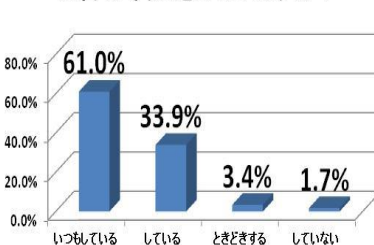


平成30年度の玉陵小学校としての統合に向けて、6小学校で共通のスローガン「ピンベタジー」を掲げています。

本校では、徹底指導として、「ピンベタジー月間」を設けたり、体育館で一斉指導をしたりしながら取り組みました。正しい姿勢をとることで、「やる気がおこる」「集中力がつく」「持続力がつく」「内臓の働きがよくなり、健康的になる」等いろいろなメリットがあることなどを担任の先生方からも指導してもらいました。その結果、日々の先生方のていねいな声かけもあり、1年生から6年生までの児童が一人一人意識して行動するようになってきました。来年度も継続した取り組みが必要だと考えています。

## ◇ 無言でそうじをがんばろう ◇

無言でそうじをしていますか？



「梅林小人権宣言」の中に「わたしたちは、なんでもいっしょうけんめいにします。」があります。「いつもしている」「している」を合わせると、94.9%の児童が、「無言で(時間いっぱい)そうじをしている」と答えています。9月からBGMを鳴らさない取り組みも始めました。毎日児童は15分間黙々と掃除をしています。以前児童数が200名を超えていた梅林小学校の広い校舎内外を現在全校児童59名で行っています。教室はほぼ3名で行い、木曜日には、教室担当以外の児童は全員でグラウンドの草取りも行っています。どの児童も本当によく頑張ってくれています。



# 学ぶ意欲を育てる国語科学習の創造

## ～「学び合い」「振り返り」の言語活動の工夫～



今年度は、副主題に「～「学び合い」「振り返り」の言語活動の工夫～」を掲げて研究を進めてきました。

主な成果として、

- ①「学び合い」での発言の仕方を掲示やカードを活用することで、「自分の考えを言うことができる。」という児童の割合が増加しました。
- ②ノート指導を通してまとめ方を工夫させたり、良く書けたノートを校内に「ノートMVP」コーナーを設置して紹介したことで、ノートを上手に使う児童が増えました。
- ③「学び合い」「振り返り」を位置づけた学習の流れが定着し、国語科に限らず、他教科においても、「学び合い」「振り返り」を位置づけた授業実践が増えてきました。

今後は、下記の2点が主な課題と考えています。

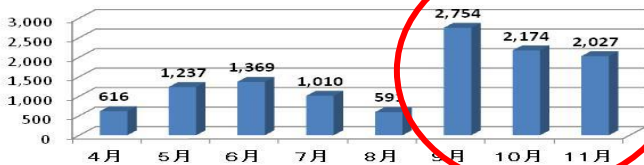
- ①学び合った後の考えを子どもたちにどのようにまとめさせていくか、さらなる工夫改善が必要であること。
- ②45分間の授業展開を効率よく進めて「まとめ」と「振り返り」を有効かつ充実したものにしていくこと。

「学び合い」の学習は好きですか？

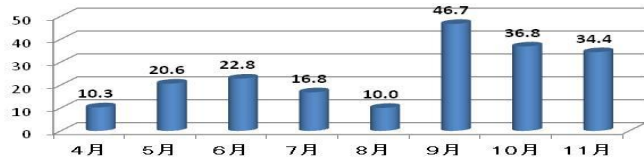


## 読書量が激増しました！

学校全体(冊)



1人あたり(冊)



左のグラフは11月までの月別貸し出し状況です。9月から激増しました。9月だけで2,754冊です。一人あたり46.7冊読んでいました。

これは本校の図書室、学級子ども文庫(県立図書館より借用)、並行読書(玉名市図書館)等を含みます。9月以降で激増したのは、熊本県立図書館の子ども文庫を活用したからです。図書館教育担当自らが、夏季休業中に450冊借用して、各教室に学級文庫を設置しました。更に、「読書ビンゴ大会」「読書ウォークラリー」「図書室ゆるキャラコンテスト」「必読書クイズ」「お話し会」等沢山のイベント等を企画して読書推進の取組を進めました。おかげで、児童の読書への意識が大いに高まり一人一人の読書量が増えました。2月になると、数名の児童は、一人で500冊を突破しました。2月までの総冊数は、16,657冊になっています。(2/24現在)

## 地域の方々に支えられながら、特色のある教育活動を推進しています！

読み聞かせボランティアによる月2回の絵本の読み聞かせを通して、本好きな子どもが増えてきました。また、梅林小教育を応援する会・老人会・保護者と連携しての田植え・稲刈り・餅つき・昔遊び、梅林保育園と共催の芋植え・芋掘り、まちづくり委員会と連携してのホタル放流会を行っています。



種蒔き(5月11日)



田植え(6月26日)



稲刈り(10月24日)



餅つき(12月11日)



読み聞かせ



ホタル幼虫放流



芋掘り



昔遊び(ごま回し)